

こんにちは。勝浦町地域おこし協力隊の坂上です。9月になり、すこし過ごしやすくなってきた気がしますね。今回の恐竜通信では化石の日講演会のお知らせと、みかん保育園で恐竜学習を行った話などについてご紹介いたします。

イベント告知：10/15（日）に化石の日講演会開催

10月15日は「化石の日」。勝浦町ではこの日に合わせて化石の日講演会を開催します。今年のゲストは福井県立恐竜博物館の**藺田先生**、徳島県立博物館の**小布施先生**です！最近話題となった勝浦町産世界最古のアドクス属（スポンの仲間）や勝浦町の化石発掘成果についてお話ししていただきます。化石研究者のお話しが直接聞けるまたとない機会です。参加無料ですので是非お越しください。

みかん保育園で恐竜学習 ✨

9月19日、みかん保育園にて勝浦町で見つかった恐竜に関する授業を行いました。園児の皆さんには授業の中で恐竜マグネット作りを体験していただきました。なんと、最後には恐竜音頭を披露してくださいました！みんな本当にありがとう！！

勝浦町 化石の日講演 面白い古生物の話

参加無料

日時 2023年 10月15日(日)
13:30～16:00 (無料・予約不要)

会場 勝浦町住民福祉センター
3F大ホール



講師 藺田 哲平氏 (そのだてつぺい)
福井県立恐竜博物館研究員。茨城大学大学院博士後期課程修了。博士(理学)。専門はカメ類などの化石爬虫類。勝浦町での恐竜化石発掘にも携わる。

講師 小布施 彰太氏 (おぶせしょうた)
徳島県立博物館学芸員。福井県立大学大学院博士前期課程修了。これまでに中生代のワニ化石を中心に研究を行ってきた。勝浦町での恐竜化石発掘に携わる。

講師 坂上 莉奈 (さかがみりな)
勝浦町地域おこし協力隊。福井県立大学大学院博士後期課程修了。博士(生物資源学)。専門は恐竜やカメ類の脳や耳。今年6月より勝浦町での恐竜事業に携わる。

講師 荻野 慎譜 (おぎのしんかい)
勝浦町参与。鹿児島大学大学院博士後期課程修了。博士(理学)。専門は哺乳類化石や化石発掘史。大学研究所等を経て恐竜を活かしたまちづくりを行っている。

主催：勝浦町教育委員会 お問い合わせ：☎0885-42-2515 助成：(公財) 徳島県文化振興財団 文化振興基金



マグネット作り



恐竜音頭

古生物豆知識 徳島県勝浦町で見つかる古生物の化石～恐竜以外の化石編～

勝浦町の恐竜化石を含む地層からは、恐竜化石のほかにカメ類の甲羅やワニ類の歯、硬鱗魚（ガーなどの仲間）のウロコ、淡水生のサメの歯などが発見されます。また、植物や貝の化石も見つかります。化石写真：徳島県立博物館提供

▶ワニ類



ついでつ
ワニ類の椎骨 (背骨)



ワニ類の歯

▶貝類

恐竜化石とよく一緒に見つかる



トリゴニオイデス
たんすいせい
(淡水生二枚貝類)



まきがい
巻貝類の一種



ハヤミナ
きすいせい
(汽水生二枚貝類)

▶カメ類



ろくばんこつ
スポン上科の肋板骨



えんばんこつ
スポン上科の縁板骨



ふくこつ
スポンモドキ科の腹甲

▶魚類 (条鰭類・サメ類)

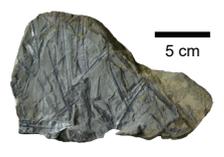


こうりんぎょ
硬鱗魚のウロコ
(ガーやアマアの間)



へてろぷてこだすの歯
(サメ類)

▶植物化石



らし
ニルソニア (裸子植物)



くらどふれびす
(シダ植物)



ブラキフィルム?
(裸子植物)

～植物化石から古環境を推定～

恐竜時代の日本の植物化石は伝統的に、**湿潤で温暖な**気候に生息した「**手取型植物群**」、**乾燥した**亜熱帯～**熱帯**の気候で生息した「**領石型植物群**」に分けられます。徳島県の前期白亜紀の地層から産出する植物化石は領石型で、これらは乾季を伴う亜熱帯～熱帯の気候に生息していたと考えられています。

